

花卉懇談会

消費者の視点で改革

フォーラムで「元気」出す

東京農業大学農学部花科学研究室の卒業生を中心
に、花き園芸についての情報交換や相互交流の場とし
て、春に総会とフォーラム、夏にセミナーを開催する
など活発な活動を続けている花卉懇談会は、第22回花
卉懇談会フォーラム「エンドユーザーからみた花き業界へ
の改革・提言パート2」を、2月18日午後1時から午
後5時45分まで、東京農大世田谷キャンパス・メディ
アホールで開催した。



座長の鈴木昭氏

フォーラムの始めに、座
長の(株)スズキフロリスト会
長・鈴木昭氏が「常日、ろ



花卉懇フォーラムでのパネルディスカッション風景

花屋として周囲を見渡すと
元気が無い。今日は元気の
いい話をうかがいながら元
気を出そうと進めてまいり
たい」とあいさつ。フォー
ラムに入る。

講演とパネルは、マ「花
を買い求めるエンドユーザ
ーの実態」フラワーコミュニ
ケーター・鈴木千春氏
「会社の土作り」(株)パー
ク

・コーポレーション代表取
締役・井上英明氏「新し
い花文化(花贈り)の創造
に向けて」東京生花(株)代
表取締役・川原常光氏「仲
卸からみた花き業界への改
革、提言」(株)京橋花き代
表取締役・江口晃氏。
講演後はパネルディスカ
ッションとなった。

井上氏「テクニクより
単品の美しさを見せる、そ
の良さ、季節感を感じる枝
性」川原氏「宣伝しても一過
し」江口氏「野菜では生産者
の顔の付けたものがある
が、それをどうするか? 花
き業界では鮮度保持につい
ての話があるが、手段が目的

多方面から活発な提言
が、お客の2割が男性とい
う店舗もあり、男性客はま
だ可能性があると手応えを
感じている」。

江口氏「野菜では生産者
の顔を付けたものがある
が、それをどうするか? 花
き業界では鮮度保持につい
ての話があるが、手段が目的

会場からも質問の手が挙
がるなど、活発なディスカ
ッションとなっていた。

江口氏「野菜では生産者
の顔を付けたものがある
が、それをどうするか? 花
き業界では鮮度保持につい
ての話があるが、手段が目的

市場法の改正をふまへ、
仕入れ代行業から提案型の
企業へ。何が出来るか。産
地情報を確実に提供するな
どできることから始めるこ
と。直荷引きや消費ニーズ
に合わせた荷姿の提案な
ど。仕入れのストレスなく
上手に使っていただけるよ
うに努力し、お手伝いをし
ていきたい。

【講演要旨】
「花を買い求めるエ
ンドユーザーの実態」
フラワーコミュニケーター
鈴木千春氏
(花き業界では) エンド
ユーザーがわからないとの
声があったが、本当にそう

■鈴木氏
情報の共有化が不足
■井上氏
魅力ない店に客こない

井上英明氏
川原常光氏
江口晃氏

「新しい花文化(花贈
り)の創造に向けて」
東京生花(株)代表取締役
川原常光氏

「花贈り」が訪問や記念日
の際に「心の贈り物」のス
タンドアードとして認知され
た時に、多くの国民が「粋
酒脱、伊達者」と古来の形
容に当てはまる洒落心を持
つ国民性に進化できる。花
贈りの基本は「持ち歩く」

■川原氏
業界率先して花贈り
■江口氏
提案型の仲卸へ努力

江口晃氏
「仲卸からみた花き
業界への改革、提言」
(株)京橋花き代表取締役

な。モノは流れるが情
報が流れない業界なのか、
と思ひ、生産、小売、小売
と生産への情報交換の仕事
をさせていただけたらと思
っています。

現状の問題点は各立場ご
とに情報不足を訴え、情報
の共有化ができていない。
生活者の立場に立った市場
分析、情報を流すシステム
作り、花を楽しむ習慣を広
めること。花は嗜好品であ
り、生活にゆとりが感じら
れるこれからの出番。

「Living with Flo
wer Everyday」花や
緑に囲まれた心豊かな生
活を...。お客様は魅力の
ない店には来ない。お客の

日本人の贈り物は極めて
儀礼的な贈答に集約され
る。贈答の手段ではなく、
「花贈り」が訪問や記念日
の際に「心の贈り物」のス
タンドアードとして認知され
た時に、多くの国民が「粋
酒脱、伊達者」と古来の形
容に当てはまる洒落心を持
つ国民性に進化できる。花
贈りの基本は「持ち歩く」

と。その優美な姿やカッ
コ良さを若男女に喧伝す
ることが必要です。さらに
花を手渡した後に生じる
「小さな感動ストーリー」
が人々の暮らしを豊かにす
るものであることも伝えて
いく必要があります。

私どもは大田市場で仲卸
業を行っております。産地
は市場には行くが仲卸まで
はなかなか来ない。仲卸は
小売の立場が強く、卸と目
線が違う。また、市場は産
地からコミッションをもら
うが、仲卸は小売店からコ
ミッションをいただいでい
る。その小売店に対して何
ができるか。作った人の気
持ちは伝わるような産地フ
ェアや水あげサービス、作
業スペースの提供などを
行い、良きパートナーとし
ての新しい取り組みを行っ
ている。